

キャラクター名
小鳥遊 紋花

プレイヤー名

シンドローム	バロール		ワークス	歌手	カヴァー
	バロール				
オプション			年齢		性別
覚醒	犠牲	衝動	自傷		初期侵食率 32 %
出自	親の理解		経験	消せない傷	邂逅 腐れ縁

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	0	1			1	行動値	10
感覚	2	1	0			3	(非装備時)	10
精神	4	0	0			4	戦闘移動	15
社会	2	0	0			2	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC			交渉		1
回避			知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:	2		知識:	2		情報:ウェブ	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
虚無の城壁	3	2	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果: ガード+{lv*3}								
時の枢	★	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果: 判定前に宣言、失敗させる。1シナリオ1回								
グラビティガード	5	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガード+(lv)D								
魔人の盾	3	4					-	
効果: +{lv*10}シーン1								
孤独の魔眼	2	4					-	
効果: シナリオlv回								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

過去、後悔する出来事ばかりある。
ごく普通の家庭に育って、裕福でなくても幸せだった。
その幸せを自分で壊すまでは、本当に忘れられない幸せだった。

母も父も誕生日が近く、その月になると毎日がパーティーのようで笑顔が絶えなかった。
だが、そんな幸せも一つの出来事で崩壊してしまう。その日は母の誕生日だった。
学校から急いで帰る。大切な家族の誕生日、渡す物も前に買って決まっていた。
休む暇もなく走って帰った。だが母がいつものように出迎えてくれない。
嫌な予感が頭をよぎった。靴を脱ぎ捨て「母さん！母さん！」と叫びながら居間へ行くと…
そこには見知らぬ男に脅され、刃物を向けられながらも相手から目を背けず何かを抱える母がいた。
気づいた時には駆け出し、母と男の間に立っていた。男の手にあった刃物は自分の胸を貫いており、胸からは血が滲んだ。
その瞬間、母が泣き出す前に周りは闇に包まれていた。
目の色が変わり、相手の男の首を絞めている自分がいた。感覚も感情もなく、ただ目の前の存在を"排除"しようとしていた。
胸の傷は塞がっているのかも分からず、服は真っ赤に染まっていった。
呆然としていた母が我に返り「やめなさい！」と何度も繰り返しながら抱きしめてくれた。
母の涙が触れた途端、意識が遠のき床に倒れた。男は気絶しておりその場に落ちた。

後日、目を覚ました自分は病院で拘束されていて訳がわからなかった。
胸を刺されたのもあり、自分は死んだと思っていた。だが、実際のところは生きていた。自分の体を見ると何箇所も引っ掻いた痕が残っており、何があったのか考える前に眠った。
起きた時には見知らぬスーツの男に説明をされたが、正直なところ頭に入ってこなかった。何かしらのウイルスに感染して、自分は人ならざるものになっただけらしい。